

# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月6日

上場会社名 図研エルミック株式会社  
 コード番号 4770 URL <http://www.elwsc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 尉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 江口 慎一  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-624-8111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	891	△11.6	△100	—	△100	—	△92	—
25年3月期第3四半期	1,008	8.3	△66	—	△65	—	△65	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△14.64	—
25年3月期第3四半期	△10.42	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	749	475	63.4	75.65
25年3月期	904	567	62.7	90.30

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 475百万円 25年3月期 567百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,550	2.7	25	—	25	—	15	—	2.39

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	6,284,944 株	25年3月期	6,284,944 株
26年3月期3Q	0 株	25年3月期	0 株
26年3月期3Q	6,284,944 株	25年3月期3Q	6,284,944 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期貸借対照表関係) .....	7
(四半期損益計算書関係) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、平成25年12月の内閣府景気ウォッチャー調査にあるように消費者の購買意欲の改善に支えられ、緩やかな回復を示しておりますが、平成26年4月からの消費税増税が正式に決定したこともあり、企業動向はその影響を懸念して設備投資に慎重になるなど、先行きについて注視が必要な状況で推移いたしました。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンの拡大や、その普及に伴い成長するLTE(Long Term Evolution)サービスやアプリケーションサービスなどの分野で開発投資、設備投資が堅調となる分野が存在しましたが、その端末をはじめとする民生機器分野において海外企業との競争環境は厳しく、事業環境は低調なまま推移いたしました。

このような事業環境の中で当社は、通信ミドルウェアライブラリ製品を中心とするミドルウェア製品事業、モジュール製品とCベース設計向けビジネスを中心とするハードウェア製品事業、そしてFAネットワーク向けビジネスと通信ボード製品を中心とするFA製品事業のそれぞれにおいて、製品開発に継続して取り組むとともに、新たな需要獲得に向け平成25年11月に開催されたET2013をはじめとする業界展示会に出展するなど、販売に力を注いでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、8億91百万円（前年同四半期比11.6%減少）となり、営業損失は1億円（前年同四半期は営業損失66百万円）、経常損失は1億円（前年同四半期は経常損失65百万円）、四半期純損失は92百万円（前年同四半期は四半期純損失65百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ・ミドルウェア製品事業

当事業では、IPセキュリティ機器向けONVIF対応製品において、本技術を搭載した業務用インターフォンの販売が開始され、またネットワークカメラ向け需要が拡がりを見せるなど堅調に推移しており、また力を注いでいる車載機器向けMirrorLink対応製品の商談も拡大傾向にあります。

この結果、売上高は4億58百万円（前年同四半期比15.8%増加）、セグメント利益は2億22百万円（前年同四半期比4.8%増加）となりました。

#### ・ハードウェア製品事業

当事業では、Cベース設計向けビジネスの需要が拡大し、またハードウェアIPの新製品の販売に力を注いでおりますが、不採算案件を大幅に見直したことにより売上高は伸び悩み結果となりました。

この結果、売上高は3億23百万円（前年同四半期比30.1%減少）、セグメント利益は78百万円（前年同四半期比32.3%減少）となりました。

#### ・FA製品事業

当事業では、ISDN通信ボードの売上が小売業向けPOS端末への搭載需要の堅調さに支えられ順調に推移いたしました。FAネットワーク向けシステム製品は、需要先各社の設備投資意欲が上向きに転じているものの、本格回復しないまま推移いたしました。

この結果、売上高は1億6百万円（前年同四半期比24.9%減少）、セグメント利益57百万円（前年同四半期比28.1%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、7億49百万円となり、前事業年度末に比べ1億54百万円減少いたしました。これは主に、前払費用の増加46百万円、長期前払費用の増加44百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少1億97百万円、現金及び預金の減少26百万円、投資有価証券の減少8百万円等によるものであります。

負債の部は、2億74百万円となり、前事業年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に、長期前受収益の増加60百万円、前受収益の増加50百万円があったものの、訴訟損失引当金の減少72百万円、買掛金の減少55百万円、製品保証引当金の減少25百万円、賞与引当金の減少19百万円等によるものであります。

純資産の部は、4億75百万円となり、前事業年度末に比べ92百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少92百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

情報通信・エレクトロニクス業界の各社においては、事業環境が緩やかな景気回復局面の中にあるとの見方は概ね一致しておりますが、消費税増税の影響や貿易収支の赤字拡大による金融市場の混乱が懸念されるなど、経済の先行きは極めて流動的になっています。

このような事業環境ではありますが、当社といたしましては「組込コア技術のリーディングカンパニー」としての地位を確立するべく、引き続き各事業における収益力の強化に努めてまいります。

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月23日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	304,650	278,244
受取手形及び売掛金	※ 418,992	※ 221,347
有価証券	63,115	63,141
商品及び製品	14,172	10,430
仕掛品	16,553	21,982
原材料	930	312
前払費用	19,272	65,465
その他	4,491	1,038
貸倒引当金	△443	△380
流動資産合計	841,735	661,582
固定資産		
有形固定資産	11,945	14,893
無形固定資産	25,425	20,004
投資その他の資産		
投資有価証券	13,010	4,631
長期前払費用	—	44,260
その他	18,996	11,216
貸倒引当金	△6,649	△6,649
投資その他の資産合計	25,356	53,458
固定資産合計	62,726	88,356
資産合計	904,461	749,938

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	90,866	35,569
未払法人税等	6,982	3,718
前受収益	18,634	69,565
賞与引当金	46,440	26,713
製品保証引当金	43,439	17,462
訴訟損失引当金	72,320	—
その他	44,892	43,813
流動負債合計	323,576	196,842
固定負債		
長期未払金	3,431	3,431
長期前受収益	264	61,057
退職給付引当金	2,998	2,998
その他	6,655	10,177
固定負債合計	13,349	77,664
負債合計	336,926	274,507
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,202,036	1,202,036
資本剰余金	81,886	81,886
利益剰余金	△716,483	△808,490
株主資本合計	567,438	475,431
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96	—
評価・換算差額等合計	96	—
純資産合計	567,535	475,431
負債純資産合計	904,461	749,938

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	※ 1,008,047	※ 891,515
売上原価	599,016	532,079
売上総利益	409,031	359,436
販売費及び一般管理費	475,136	459,740
営業損失(△)	△66,105	△100,304
営業外収益		
受取利息	118	97
受取配当金	300	160
助成金収入	1,833	—
受取手数料	158	148
その他	1,676	166
営業外収益合計	4,087	573
営業外費用		
支払利息	—	42
為替差損	2,201	730
その他	1,508	38
営業外費用合計	3,710	811
経常損失(△)	△65,727	△100,542
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,655
投資不動産売却益	2,981	—
役員退職慰労金返還額	—	9,670
特別利益合計	2,981	11,325
特別損失		
固定資産除却損	0	29
特別損失合計	0	29
税引前四半期純損失(△)	△62,745	△89,247
法人税、住民税及び事業税	2,835	2,835
法人税等調整額	△83	△75
法人税等合計	2,751	2,759
四半期純損失(△)	△65,497	△92,006



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	2,500千円	735千円

(四半期損益計算書関係)

※ 売上高の季節的変動

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

当社の売上高は、通常の営業形態として、第4四半期会計期間に完了する業務の割合が多いため、四半期会計期間毎の売上高に季節的変動があります。